いつでも、どこでも、誰とでも。ベースボール５でつなぐ『スポーツ元気都市・かぞ』

スポまち！表彰2026
⑩埼玉県加須市

＜目標＞　　**計画期間：**～令和１０年３月３１日

「加須市健康・医療・スポーツ推進計画（第５章）」の推進エンジンとして『ベースボール５』を位置づけ、
「いつでも、どこでも、誰とでも」スポーツに親しめる環境を構築！

競技体験者数：600名（R8）→2,000名（R9）　／　障がい者も参加できるイベント数：２つ（R8）→３つ（R9）

＜ＰＲポイント＞

○バットもグローブもいらない5人制野球「ベースボール５」で、埼玉県加須市が誇る最高峰のアスリート資源（日本代表・高校ユース日本一）を**全市民の健康づくりへ還元**
○学校体育への導入や、幼児から80代・障がい者までが同じコートで対等に戦う「加須フェスティバル」を通じて、年齢や性別、国籍の壁を越えた**インクルーシブな空間を創出**
○「加須市健康・医療・スポーツ推進計画」と強固に連動し、**スポーツ未実施層を解消しながら、誰もが主役に！**

＜現状・課題＞

○市民の主体的な生涯スポーツ実践において、従来の競技スポーツだけでは**運動習慣のない層（未実施層）の取り込み**に限界がある。
○年齢、性別、障がいの有無に問わず、高額な用具や遠方の施設移動の負担なく、身近な広場等で即座に始められる**ユニバーサルなスポーツプログラムが不足**している。
○市内には、B5日本代表輩出という資源があるが、市民の健康づくりや教育現場への還元動線が未確立である。

＜総合的な取組内容＞

世界トップレベルのアスリート資源を学校教育・地域イベントに融合させ、幼児から80代までがコート上で対等に混ざり合う
「多世代・ダイバーシティ共生コミュニティ」を創出
→ 市民の日常的スポーツ実施率（上位計画KPI）の底上げ・都市ブランドの向上を同時に達成

行政支援（伴走パートナー）
・加須市による予算・会場（ふじアリーナ）確保
・上下関係のない、民間活動のバックアップ
・各セクターを柔軟に繋ぐ官民ハブ機能

地域経済・コミュニティ
・加須青年会議所(JC)主導の体験イベント
・幼児から80代まで混ざり合う市民大会
・市民が日常的に競技に触れる基盤づくり

国際・観光（ツーリズム）
・フランス代表チームの合宿誘致、受入
・国際親善試合の定期開催による交流
・インバウンド創出
・郷土料理「加須手打うどん」体験

競技・アカデミー
・B5日本代表による市内小中学校の巡回指導
・花咲徳栄高校によるユース世代の牽引
・地元大学の参入で「高・大」が接続

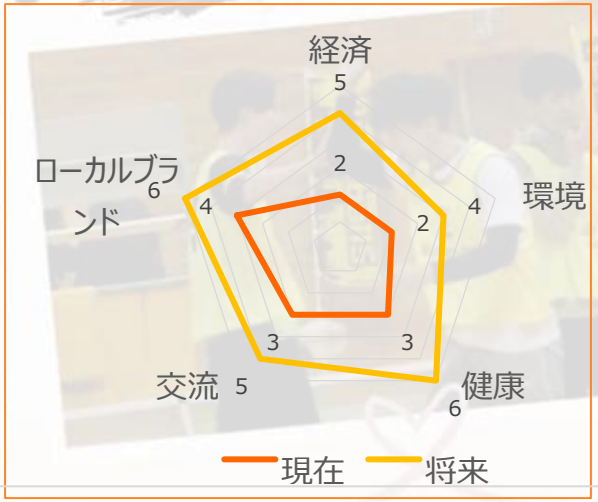
福祉・インクルーシブ
・車椅子ソフトボール協会との緊密な連携
・「車いすB5」オリジナルルールの共同開発
・障がいの有無を超えたバリアフリーな交流

【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号

加須市健康スポーツ部スポーツ振興課
０４８０－６２－６１２３